

自分の思いを伝え、相手の考えをしっかりと受け止められる子

(付きたい力)

(活動例)

深化期

小学校でのディベートの実践を土台にして、戦略的に討論を進め、論理的に考え続けることができる力を育む

実践期

様々なディベートの実践を通して、討論を楽しみ考え続けることができる力を育む。

基礎期

言葉遊びの楽しさを感じ、ディベートの基礎となる言葉への興味関心を高める。

・ディベートで培った力を活かして、様々な方法で表現することができる。

・ディベートを通して、2極対立以外の意見(納得解、最善解)を見出すことができる。
・様々なディベートに親しみ、論題等によって選択することができる。

・根拠の確かさに目を向け、よりよく選択することができる。
・自分の生活や意見と比較しながら考えることができる。

・ディベート的な話し合いを、教科の学習でも活かすことができる。
・相手の良さを認め、自分たちの改善に役立てることができる。

・ディベートの用語を理解している。
・相手の言葉を引用して、自分たちの論を組み立てることができる。

・グループで協力して、「主張」を構築できる。
・ジャッジを説得する意識を持って判定のルールを意識した討論ができる。

・討論やミニ・ディベートを楽しむことができるようになる。

言葉のやり取りのある活動やゲームをルールを守って楽しむことができる。

ルールのある遊びを通して自分の思いを表現し、友だちの思いも聞くことができる。

・身近な人からの絵本の読み聞かせ等を通して、人に対する愛着や信頼感などを身に付ける。
・言葉に対して興味を持つことができる。

中3

・教科の学習内容から論題を設定し、学びを深めるディベート
・第2反駁ディベート
・チャレンジ小論文

中2

・教科の学習内容から論題を設定し、学びを深めるディベート
・「解決できるかな」
・即興型ディベート
・第2反駁ディベート
・ビフォー/アフターディベート

中1

・教科の学習内容から論題を設定し、学びを深めるディベート
・シナリオ改良型ディベート
・ビフォー/アフターディベート

小6

・教科の学習内容から論題を設定し、学びを深めるディベート
・「反論でファイト」「ちょっと待った!ゲーム」
・反駁型ディベート
・アフターディベート

小5

・引用して表現する活動(各教科)
・「引用質問ゲーム」「質問予想ゲーム」
・「根拠探しゲーム」
・資料提示型ディベート

小4

・根拠のある意見を表現する活動(各教科)
・「いいね!ゲーム」「なぜなぜならゲーム」
・ミニ・ディベート
・判定ルールを決めよう

小3

・立論型ディベート
・ディベート的話合い
・活動の後のふり振り返り活動

小2↑小1

・「探偵ゲーム」→「私は誰でしょう」
・「同じ/違うところはどこかな」
・活動の後のふり振り返り活動

就学前教育等

5↑3歳

・「何が好きゲーム」
・「おしゃべりしりとり」
・遊びの後のふり振り返り活動

2↑0歳

・「With books 事業」HOPステージ
・絵本の読み聞かせ